

資料 1

ヒアリング資料

障害者基本計画（第3次）の実施状況（案）についての意見

全国特別支援教育推進連盟

理事長 大南英明

障害者基本計画（第3次）実施状況（案）について意見を述べる機会を与えたことに感謝します。

1 教育

（1）インクルーシブ教育システムの構築について

「教育支援資料」を全国に配布し、就学に関する理解を深めるなど効果的である。

インクルーシブ教育システム構築モデル事業を実施し、都道府県、市町村、学校等の協力を得て、成果を上げている。

例 「早期からの教育相談・支援体制構築事業」

「特別支援学校機能強化モデル事業」など

「多様な学びの場」の充実を図るため、教員定数の改善、特別支援教育支援員の配置、増員を講じている。

（2）教育環境の整備

教育的ニーズに応じた教材の提供（拡大教科書、教科書デジタルデータ等）

「災害に強い学校施設の在り方について」を取りまとめ

全国特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会が各地で災害への対応の勉強会を

2 雇用

（1）障害者雇用

障害者の雇用が関係者の努力により推進されていることは喜ばしいことである

特例子会社での雇用も推進されている

今後に対する要望

1 教育について

「多様な学びの場」を全国で展開するためには、教員の定数改善はかかずことができない。必要な定数改善を図るべきである。

教育的ニーズに応じた適切な指導を進めるため「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の活用を推進する。

2 雇用について

障害者の雇用ができていない企業に対し、障害者理解の推進を図る。

法定雇用率の達成は大きな課題であるが、49人以下の企業、事業所への雇用を推進する必要がある。大勢の中では仕事の能率が上がらないが、少人数の中では、適性を発揮できる知的障害者、自閉症者が大勢いることに注目する。